

県議会お報じ

— 平成26年度 出前県議会 — 議員と語ろうイン豊肥地域



出前県議会を開催しました。

9月26日竹田市で、「豊肥地域の農業振興と魅力あるまちづくりについて」をテーマに、豊肥地域で活躍されている6名の方々から、様々な意見、提言をいただきました。

目次	▶平成26年 第3回定例会…………… 1
	▶委員会の活動状況…………… 4
	▶トピックス・県議会今後の動き…… 6

平成26年 第3回定例会

9月2日から9月18日までの会期17日間で開催しました。

開会后、近藤議長による諸般の報告に続き、韓国のティーウェイ航空のソウル〜大分線、ジェットスター・ジャンの関西〜大分線において、大分空港の着陸料等を助成する予算など、計27億9432万円を盛り込んだ平成26年度大分県一般会計補正予算案や、統合により、「県立別府翔青高等学校」と「県立玖珠美山高等学校」を設置するための条例改正案など、議案31件、諮問1件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。

9日から3日間にわたり行われた一般質問では、12人の議員が登壇し、ラグビーワールドカップの招致や災害時における防災意識などについて、執行部と活発な議論を行いました。

また、11日には、先に提出された議案のうち決算議案15件を審査するため、決算特別委員会を設置しました。

各常任委員会では、12日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案18件を可決・同意し、議員提出議案10件を可決、請願2件を趣旨採択、3件を不採択、2件を継続審査とし、閉会しました。

会期中には、延べ228人の方々、本会議や委員会を傍聴されました。

一般質問

9月9日(火)



県民クラブ
深津 栄一 議員

土砂災害対策
地域コミュニティの維持 ほか



自由民主党大分県議員団
嶋 幸一 議員

子ども・子育て支援新制度
新教育委員会制度 ほか



公明党
戸高 賢史 議員

エネルギー政策
医療を取り巻く諸課題 ほか



自由民主党大分県議員団
毛利 正徳 議員

中小製造業への支援
耶馬溪ダム ほか

9月10日(水)



自由民主党大分県議員団
油布 勝秀 議員

市町村合併後の周辺部
竹田高校剣道部における事故 ほか



県民クラブ
三浦 正臣 議員

東九州新幹線
学校を取り巻く問題 ほか



自由民主党大分県議員団
麻生 栄作 議員

脳・神経・筋疾患治療への支援
自転車事故の被害軽減のためのヘルメット着用運動 ほか



自由民主党
荒金 信生 議員

観光振興
旧別府署周辺の治安 ほか

9月11日(木)



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

労働者の賃金引上げ
保育の質の確保 ほか



自由民主党大分県議員団
土居 昌弘 議員

高校教育
久住山を活かした地域づくり ほか



県民クラブ
尾島 保彦 議員

農業問題
高校教育環境の整備 ほか



自由民主党大分県議員団
濱田 洋 議員

地方創生
コミュニティ・スクール ほか

ラグビーワールドカップ

問 ラグビーワールドカップの招致について、知事の考えを伺う。

答 2019年に日本で初めて開催されるワールドカップは、広く全国で開催されるものであり、大会を本県で開催することは、元気で豊かな地方を目指す意味からも価値があるものと考えている。開催にあたって、本県には3つの強みがある。
まずは、大分のラグビーには伝統があり、県民の関心が高いということである。

次に、国際大会開催の実績を持ち、九州最大の収容規模を誇る全天候型の大分銀行ドームを有していることである。

さらには、2002年のサッカーワールドカップなどの大規模大会などの経験から、試合運営や観客の宿泊、輸送など、開催に必要なノウハウの蓄積があるということである。

また、開催の効果として、ヨーロッパからの観光客の受け入れなど経済効果が期待でき、翌年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致をより効果的に進めることができる。さらに、スポーツを通じた地域間交流は大会終了後も継続される。

一方、開催に当たっては大会運営組織や費用対効果の検討、厳し

い誘致競争等の課題もある。こうした中、9月1日、県ラグビー協会の皆様から、1ヶ月で5万4千人を超える署名を添えた誘致要望書を受け取った。

このような県民の熱い期待に応えることができるよう、諸課題について検討を急ぎ、前向きな結論が得られるよう努力していきたい。

災害時における防災意識

問 災害が発生した場合における県民の防災意識の醸成について、知事の問題認識や所見を伺う。

答 災害時においては、行政が避難勧告の発令等を迅速に的確に行い、また、一人ひとりが適切な行動がとれるよう、防災意識のさらなる醸成を図らなければならない。

その一つは、自主防災組織の活動を通じた住民の防災意識の醸成である。日田市五和地区では、8地区が合同で防災訓練を、臼杵市神崎地区では、夜間避難訓練を実施した。また、豊後高田市では、地域住民が参加した避難場所等の確認や防災マップの作成など、各地域で防災意識の醸成に繋がる活動が自主的に行われている。

こうした活動を広げていく上で重要な役割を果たすのが防災士である。本年4月には、防災士の活

動を支援する「自主防災組織活性化支援センター」を設置し、防災士の養成とともに、スキルアップにも取り組んでいる。

もう一つは、防災教育などによる防災意識の醸成である。今年の12月から、地震体験車による揺れの体験と合わせて津波の怖さを学び、「揺れたら身を守り逃げる」という意識の醸成を図っていく。

こうした取組を通じて、いざという時に自らの判断で命を守る行動がとれるよう防災・減災対策を着実に進めていく。

高齢者福祉

問

健康寿命について、現状認識と今後講じうる対策について、さらにはそれらを踏まえた今後の高齢者福祉のあり方について伺う。

答

健康寿命を延伸し、健やかに暮らすことが県民の願いであり、その実現が県にとって大変重要な課題であると認識している。

県では、身体機能の低下した高齢者が、元気で自立した生活を取り戻すことができるよう、自立支援型のケアプランを策定していくための地域ケア会議の取組を支援している。また、生活機能向上支援マニュアルの作成や、高齢者が気軽にできる体操の普及などにも努めている。

さらに、高齢者が豊かな知識や経験を活かし、生きがいを持って社会参加することも大切であるため「おおいたシニアリーダーカレッジ」を開講するなど、地域活動の担い手となる高齢者を養成している。

地域包括ケアシステムの構築に向け、策定中の「第6期豊の国ゴールドプラン21」では、「健康づくりと介護予防の推進」、「生きがいづくりと社会参加の推進」を重点施策に位置づけ、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らせる地域づくりを目指していく。

農産物の6次産業化

問

今後どのように6次産業化の推進を図っていくことと考えているのか。

答

県内では食品産業と融合・連携を図る6次産業化の様々な取組が始まっている。

まずは、生産者自らが起業するもの、次に、農業者と食品産業が連携して商品づくりを進める農商工連携、さらには、食品加工技術を持った企業が自ら生産に参入し、6次産業化を進める取組である。しかしながら、6次産業化を進めるには、地域資源や人材の確保等多くの課題があり、県としても積極的に支援を進めている。まず、新たな掘り起こしや技術支援を行うため、農業の専門知識

を有するアグリプランナーを今年度から県産業創造機構に配置した。また、本県を九州の加工拠点に転換するため、本年2月「おおいた食品産業企業会」を立ち上げた。8月には、産業科学技術センター内に、食品の試作や試験ができる「おおいた食品オープンラボ」を開設し、新たな商品開発にはずみをつけたいと考えている。

今後も6次産業化の促進により、地域の潜在力を引き出し、新たな所得と雇用の創出につなげていく。

可決された議案（議員提出）

意見書（8件）

- ▽私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書
- ▽農業農村整備事業関係予算の確保を求める意見書
- ▽地方財政の充実・強化を求める意見書
- ▽奨学金制度の充実を求める意見書
- ▽産後ケア体制の支援強化を求める意見書
- ▽魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書
- ▽「危険ドラッグ（脱法ハーブ）」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書
- ▽軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取組の推進を求める意見書

決議（2件）

- ▽ラグビーワールドカップ2019の大分県開催実現に関する決議
- ▽重光葵元外務大臣の国際連合加盟受諾演説の学校教育における取扱いを求める決議

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

趣旨採択された請願（2件）

- ▽軽油引取税の課税免除措置に関する意見書の提出について
- ▽漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の堅持を求める意見書の提出について

可決・承認等された議案等（知事提出）

- **予算関係（3件）**
 - ▽平成26年度大分県一般会計補正予算（第2号）について ほか
 - **条例関係（9件）**
 - ▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について ほか
 - **人事関係（2件）**
 - ▽人事委員会委員の選任について ほか
 - **その他（4件）**
 - ▽工事請負契約の変更について ほか
 - **諮問（1件）**
 - ▽退職手当支給制限処分に対する異議申立てに関する諮問について

委員会の活動状況

常任委員会

総務企画委員会

●委員会開催状況

9月12日 ・平成26年度大分県一般会計補正予算(第2号)について ほか

●県外調査 7月28日～30日

- ・北海道立北方民族博物館(北海道網走市)
オホーツク・知床地域の歴史と文化、自然に関する研修
- ・公益財団法人知床財団(北海道斜里町)
世界自然遺産の保護と観光・地域振興の調和・調整
- ・北海道オホーツク総合振興局(北海道網走市) オホーツク・知床地域の観光振興
- ・公益財団法人網走監獄保存財団(北海道網走市)
地域に根ざした博物館の公益財団による運営 ほか



【公益財団法人網走監獄保存財団】

福祉保健生活環境委員会

●委員会開催状況

9月12日 ・薬事法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について ほか

●県外調査 7月29日～31日

- ・岩手県議会(岩手県盛岡市) だれもが安心して暮らせる条例
- ・東北地方整備局釜石港湾事務所(岩手県大船渡市) 防波堤による津波対策
- ・仙台市若林区役所(宮城県仙台市) 地域包括ケアシステム

●県内調査 9月24日～25日

- ・社会福祉法人長陽会(佐伯市) ほか2カ所



【東北地方整備局釜石港湾事務所】

商工労働企業委員会

●委員会開催状況

9月12日 ・平成26年度大分県一般会計補正予算(第2号)について ほか

●県外調査 7月14日～16日

- ・富山商工会議所(富山県富山市) 北陸新幹線開業に向けた活性化の取組
- ・(株)まちづくりとやま(富山県富山市) コンパクトシティによる中心市街地活性化
- ・愛知県議会(愛知県名古屋市) あいち自動車イノベーションプラン ほか



【(株)まちづくりとやま】

農林水産委員会

●委員会開催状況

8月 7日 ・株式会社大分県畜産公社の新施設整備進捗状況等について ほか
9月12日 ・漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の堅持を求める意見書の提出について ほか

●県外調査 7月14日～16日

- ・(有)レチュール・ユゲ(兵庫県神戸市) 6次産業化の取組
- ・大阪市食肉市場(株)(大阪府大阪市) おおいた豊後牛にかかる流通等
- ・京都青果合同(株)(京都府京都市) 県産農産品にかかる流通等
- ・(株)なにわ花いちば(大阪府大阪市) 県産花きにかかる流通及びエコマムの実証研究



【(株)なにわ花いちば】

土木建築委員会

●委員会開催状況

9月12日 ・平成26年度大分県港湾施設整備事業特別会計補正予算(第1号)について ほか

●県外調査 7月15日～17日

- ・富山ライトレール(株)(富山県富山市) 富山市におけるLRT(次世代路面電車)の役割
- ・富山市議会(富山県富山市) 富山市の都市計画とコンパクトなまちづくり
- ・富山県富山新港管理局(富山県射水市) 伏木富山港の整備及びポートセールス
- ・石川県議会(石川県金沢市) いしかわ風景街道 ほか



【富山県富山新港管理局】

文教警察委員会

●委員会開催状況

9月12日 ・平成26年度大分県一般会計補正予算(第2号)について ほか

●県外調査 7月14日～16日

- ・広島県教育委員会(広島県広島市) 是正指導に係る取組 ほか
- ・京都市立堀川高等学校(京都府京都市) 「課題探究型」学習の取組
- ・京都市立御所南小学校(京都府京都市) 学校と地域の連携による学校運営 ほか
- ・九州管区警察局高速道路管理室(福岡県太宰府市) 九州管内高速道路の事故の現状



【九州管区警察局高速道路管理室】

特別委員会

危機管理対策特別委員会

●委員会開催状況

9月 2日 ・避難所の運営について(講演)
・行政職員の災害対応能力向上について ほか

●県外調査 8月19日～21日

- ・新潟県議会(新潟県新潟市) 防災対策 ほか
- ・おぢや震災ミュージアムそなえ館(新潟県小千谷市) 防災学習施設
- ・おぢや復興ネットワーク(新潟県小千谷市) 集落の再生 ほか
- ・NPO法人中越防災フロンティア(新潟県長岡市) 中山間地域の活性化の取組 ほか
- ・燕・弥彦総合事務組合防災センター(新潟県燕市) 避難施設を備えた防災センター



【おぢや震災ミュージアムそなえ館】

産業・雇用対策特別委員会

●委員会開催状況

9月 9日 ・参考人出席要求の件
9月18日 ・大分県中小企業活性化条例について ほか

●県外調査 8月19日～21日

- ・墨田区議会(東京都墨田区) 中小企業の振興
- ・埼玉県議会(埼玉県さいたま市) グローバル人材の育成 ほか
- ・東京しごとセンター(東京都千代田区) 就業支援
- ・(独)産業技術総合研究所臨海副都心センター(東京都江東区) 産業技術開発 ほか



【(独)産業技術総合研究所臨海副都心センター】

人と自然の環境・資源対策特別委員会

●委員会開催状況

9月18日 ・障がい児への支援について
・インクルーシブ教育システムについて ほか



広域行政・行財政改革特別委員会

●委員会開催状況

9月18日 ・「大分県行財政高度化指針」の進捗状況について
・公社等外郭団体の経営状況及び見直し方針の進捗状況について ほか

●県外調査 8月18日～19日

- ・宇和島運輸(株)(愛媛県 船内調査)
東九州自動車道開通に向けた誘客への取組 ほか
- ・愛媛県議会(愛媛県松山市) 広域観光への取組 ほか
- ・九四オレンジフェリー(株)(愛媛県八幡浜市)
東九州自動車道開通に向けた誘客への取組 ほか



【愛媛県議会】

決算特別委員会

●委員会開催状況

9月11日 ・委員長、副委員長互選 ほか
9月30日～10月3日、7日〔企業会計・病院会計・一般会計・特別会計〕
・企業局長、病院局長、会計管理者の決算説明、監査委員の決算審査説明及び審査、質疑
・各部局別の決算説明及び審査、質疑

10月22日 ・決算審査報告検討
10月30日 ・採決及び審査報告書の検討・まとめ

決算議案15件については、原案どおり可決及び認定すべきものと決定し、検討又は改善等を求める事項を取りまとめました。

トピックス

◎第83回 県議会56分勉強会

定例会会期中の9月10日、「宇佐神宮・国東半島を世界遺産にする会」会長の永岡恵一郎氏を講師にお招きしました。「世界に発信する『豊の国の文化』『神仏習合』と題して、国東半島の仏教文化と宇佐神宮の関係や国東半島内に点在する寺社や磨崖仏など多くの写真を用いてお話いただきました。



◎議会運営改革小委員会

5月19日に設置し、議会運営全般にわたりさらなる取組が必要と考えられる事項について、幅広く協議を行ってきました。

9月18日、委員会開催時間の調整等、19項目の検討結果をまとめ、議会運営委員長に報告しました。

今後は、今回の報告内容について、議会運営委員会で協議していきます。

◎県・市町村議長との意見交換会

8月27日、大分市において、県議会及び市町村議会の各議長が一同に会しました。地方が抱える共通の課題等について、相互に情報交換を行うことにより、地方議会の円滑な運営や大分県の振興発展に資することを目的としたものです。県の担当者から農業・商工業のおおいたデステイネーションキャンペーン」に向けた取組などの説明を受け、県と市町村との連携などについて意見交換を行いました。



◎議員出前講座

議員が講師となり、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などを説明し、意見交換する議員出前講座を実施しました。(9月24日 大分市立城南中学校)



県議会 今後の動き

平成26年第4回定例会の日程(予定)

11月26日(水) 開会

12月3日(水)～5日(金)

本会議(一般質問)

8日(月) 常任委員会

11日(木) 閉会

テレビ広報番組のお知らせ

「県議会タイム」

OAB大分朝日放送

平成27年1月4日(日)

放送予定です

第4回定例会の概要や、出前県議会の模様などを放送します。ぜひご覧ください。

広報誌「県議会おおいた」

は、大分県情報センター、地区情報コーナー(各振興局)、県内各市役所、町村役場、大分銀行県内各支店に配布しておりますので、ご利用ください。

点字版・音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで

県議会ホームページでは・・・

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

検索

～子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは
議会事務局
各課まで

【総務課】 議会庶務、情報公開など

【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など

【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など

TEL 097-506-5019

TEL 097-506-5022

TEL 097-506-5035